

ペア練習のメニュー

1～3までは、♩＝60（メトロは♩＝120で）、4は ♩＝100（出来ない時にはテンポを下げる）

1. ロングトーン・スケール

{目的} 音程・音形・音色の統一。スケール感（音の階段の正確な積み重ね）を養う。すべての調への対応。

- ・ B-Dur スタートで、B→H→C→・・・→Bの順で。
- ・ テンポは ♩＝60（メトロは♩＝120で）で8拍ずつのロングトーン。
- ・ 1つの調が終わったら8拍休んで次の調。
- ・ 2人でペアを作り、出だし、音程、音色をそろえ、1本に聞こえることを目指す。2人が無理なパートは3人で。
- ・ 2オクターブずつを原則とするが、調によっては1オクターブ。（次を参照）

{木管}

- ・ 可能な場合は2オクターブ。不可能な調については1オクターブ（Sax以外は2オクターブが可能なはず）

{金管}

Tp、Tb、Eu、Tu

B-Dur 2オクターブ → H-Es-Dur 1オクターブ → E-B-Dur 2オクターブ

Hr

B-Dur 1オクターブ → H-F-Dur 2オクターブ → Ges-B-Dur 1オクターブ

これを毎日の練習の最初に必ず行なう。Tuba以外は立奏。

楽器にもよるが、トータルで約23分。

2. ユニゾン・コラール

{目的} 曲の中での音程・音形・音色の統一。ブレスの位置とブレス前後の音への配慮。

2人で（パートによっては3人で）、基礎合奏メニューの[D]（ユニゾンコラール）をやる。

1回で出来れば約1分。注意しながらやると約3分

3. 基礎合奏メニューの[E]（スケール）・[F]（アルペジオ）

{目的} より速いテンポでのスケール感を養う。和音の中での自分の役割（根音・3音・5音）の理解。

1回で出来れば約2分

4. アウフタクトの練習（基礎合奏メニューの[J]と[K]）

{目的} 休符の後のインザッツの統一。休符の音符感、休符の数え方の練習。

約5分

すんなり出来ると、全体で約35分。丁寧にやると45分。

☆ 時間がないときには、ロングトーンの調の数を減らす！